

ワークショップメンバーより		事務局より
施設管理	閉館時間などは全館同じではなく、1F部分は多少遅くし、予約本などの対応も1Fカウンターで処理。 週1回位は全体に遅くするなどできるように実施設計に生かすことを。管理者の負担を減らす。	意見として承ります。
	利用時間については、図書館は9:30~20:00まで希望します。 早朝から開館しても、ごく一部の利用者しか利用せず、職員の負担になるだけです。	
	場所によって開館時間を延長するのは難しい配置だと思います。(1Fにも普通の図書がある。当日新聞だけでなく。) 持ち込みの飲食できるスペースも必要。	
その他管理運営方針	・市は当面は直営と言われながらも、将来的に指定管理者制度への移行を念頭に入れていると感じます。現段階では、どのような指定管理者制度にしようと考えているのか具体的に示して頂きたいと思います。武雄図書館のように民間の本屋を入れる可能性もあるのでしょうか。指定管理者制度というものがどういうものであるのか直営を含めて、ワークショップと行政とで共に学ぶ機会を持って下さるようお願い致します。	「骨太の方針」に記載のとおり、開館時の運営形態は直営とします。ただし、社会情勢等の変化に応じ、最適な管理運営形態を検討します。
	・2階の子供センターをソファで仕切るとの事ですが、小さな子どもがソファで飛び跳ねたりして落下する危険はありませんか。安全対策が必要と思います。	開館後においても、日常点検等を行い安全対策等に努めます。
	・BDSは一台約5百万円するとの事です。聖籠町立図書館では死角部分にカメラを設置しているそうです。この方が低コストだそうです。入り口の多い施設ですから、予算削減の為に低コストで有効的な盗難防止対策が求められていると思います。	コスト等を考慮しながら、かつ、貴重な財産を維持する観点から、施設内にカメラを設置するとともに、セキュリティシステム(BDS)を併用します。
	1. 伊東館長がおっしゃる通り、図書館は人・人・人です。自己改革が必要だとおっしゃっていました。職員自身の。やはり館長は図書館のプロを招聘するべきです。館長の熱意で職員は変わります。日本図書館協会に依頼するという方法があると教えていただきましたので、新発田市も検討してください。ぜひお願いします。	職員の配置につきましては、人事の問題もありますが、開館時には運営に十分対応できる職員の配置を考えております。
実施設計	実施設計についてもっと詳しく知りたい。 1. 1Fの飲食スペースがカフェ営業を行うように変更されているが、お弁当持参の人はどこで食べればよいですか。 2. 基本設計の際に「開館時間が違ってくるスペースは、光熱費からも分けて考える」との話だったが、多目的室が3Fにもあり、そこだけ利用時間を変えるのは難しい。多目的室だけ区画を集中するように考えるべきでしたね。	ワークショップ等のご意見を踏まえ、飲食のルールや施設利用を確立していきます。

	ワークショップメンバーより	事務局より
実施設計	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計では、音楽練習室が広くなり、学習室が狭くなったように感じます。学習室の椅子の数は減っていませんか。カフェの厨房も新たにでき、1階がゆとりのないものになってしまい玄関口としてこれでよいのか疑問です。冬期には1階が学生で溢れるのではないかと危惧します。 ・西側駐輪場が玄関口より遠くにあり、不便だと感じます。駐輪場以外のあちこちに自転車が置かれるのではと危惧します。 ・音楽練習室へは外部廊下という場所からも入れるようになっていのでしょうか。図面が小さくてわかりません。説明していただければと思います。 	<p>配置を変更することにより、音楽練習室は方形とし、多目的室（学習）は様々な利用ができるなど利便性が向上しています。</p> <p>自転車置き場以外の駐輪については、マナーの向上に努めていきます。</p> <p>外部廊下から直接音楽練習室へは基本的に入りはできません。</p>
民間棟の設計	<p>民間棟のイメージがないので駅前全体像が浮かんでこないのが残念です。複合施設に合わせた「外観」を整えて、新発田駅前としての効感を上げてほしい。</p>	<p>施設全体での外観の統一を図ります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・民間棟の実施設計が終わっていますので、ワークショップメンバーにも説明して頂きたいと思えます。図書館利用者と民間駐車場との関連もありますので是非説明して下さい。又、いこいの広場、生鮮市場を駐車場にとの事ですが、現段階でどのような駐車場になるか説明していただければと思います。 	<p>民間棟については基本設計を終えています。基本設計の図面は第4回ワークショップの資料として添付する予定です。</p> <p>旧生鮮市場といこいの広場は複合施設の駐車場として整備する予定です。旧生鮮市場は駐車台数約60台で施設のオープンに合わせた供用開始を目指しています。いこいの広場は約40台で施設のオープン以降に整備をする予定です。</p>
検討の進め方	<p>このワークショップは図書館を中心にした施設と想っていたのですが、複合施設全体から見ての実施設計であり管理運営だと言う事がわかりました、そこで施設の1つと考えるならば、この施設に設置される方々との話し合いもワークショップであることが出来たらと思うのですが。</p>	<p>こどもセンター、キッチンスタジオ、多目的室については、ヒアリング形式で意見聴取を関係者に対して行っております。また、機能ごとの調整はワーキンググループ等が行っておりますので、全体の専門委員会の開催は考えておりません。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館専門委員会は図書館からみた複合施設の管理運営を検討する組織とのことですが、そうであれば、現在の図書館専門委員の方々は図書館に関係する方ばかりなので、子供センター、キッチンスタジオ等、それぞれから見た複合施設の専門委員会が立ち上げられるべきではないでしょうか。その上で全体の専門委員会の開催が必要と考えます。 	
	<p>特例債が5年のびたのだから、検討時間ものばしてほしい。</p>	<p>平成26年3月に合併建設計画の計画期間を3年延長し、平成30年度までといたしました。しかし、期間を延長する事業は新庁舎に関する事業のみであり、その他の事業は延長いたしません。駅前複合施設の建設及び検討は平成27年度末の完成を目指して進めておりますことから、管理運営方針の策定は平成26年度中に終えたいと考えております。</p>
	<p>当日のワークショップには参加できなかったのですが、資料をいただいて思ったことは、ワークショップの場だけでなく、広く市民の意見を聞く場をもっともっと設定してほしいと思いました。（情報提供、説明の場）</p>	<p>情報提供としては、ホームページにおいて行っております。今後は「広報しばた」でも情報発信していく予定です。ワークショップ以外の意見については、提案箱や高校生アンケート等で伺っております。</p>

ワークショップメンバーより		事務局より
検討の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・前回ワークショップでのこと（2班）話し合いしていない内容を職員が勝手にタイトルに決定（一元管理）ということがあり、不信感 	「施設長を設置し、一元管理をして欲しい」とのメンバーからの意見から一元管理としました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・手を挙げる人のみではなく、出来るだけ多くの方の意見を聞くようにするため、ファシリテーターには頑張って頂きたいと思います。 ・今回、全体でワークショップできた事は良かったと思います。メンバーは少ないのですから、今後も全体としてワークショップを行い、全ての意見を出し切り、意見交換をしたいものです。 ・ファシリテーターの役目は、行政とメンバーとの橋渡しの役目があると考えます。ワークショップメンバーのみの意見ではなく、もっと行政側の意見も引き出すよう、橋渡しをして頂きたいと思います。 	<p>テーマ等によって、全体かグループかを検討していきます。</p> <p>また、行政側の意見はワーキンググループにおいて議論しておりますので、適宜報告していきたいと考えています。</p>
ワークショップの検討内容	市民活動の在り方	今後検討します。第5回ワークショップ（10/23）のテーマにしたいと考えています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は開館時間や休館日についてと決められていましたが、まずワークショップとして、どのような事について、議論したいのかを、メンバー全員に考えてもらい、それを参考にして議論内容を決めて頂くことを提案します。そして、各項目ごとにワークショップとしての何らかの結論が出せるまで議論したいものです。十分な時間をとって頂き、議論を深めたいものです。議論する中でお互いの歩み寄りが生まれると思います。 	回数が限られているので、最初に提示した検討項目に沿って意見交換をしていく予定です。なお、各回でいただいた意見も踏まえて、具体的なテーマを設定していきたいと考えています。
講演会の内容	1. えんぱ一く初代館長内野さんの講演をお願いします。複合施設の開館時の実情など、具体的な内容をお聞きしたい。今回のように単独の図書館とは違う内容の参考になるお話や、全国の多数の図書館を視察され詳しくご存じなので今回のWSに有効だと思う。	<p>次回の講演会について、左記の貴重な御意見をいただきましたが、図書館同様、中心的な役割を担うこともセンター機能の観点からこども又は子育て等に関する講演をいただくことで検討しています。</p>
	目指す図書館の姿を、市と市民が共有できるような、学べる内容。葉袋先生、糸賀先生など。	
	新発田市の環境にマッチした所での講演をお願いします。	
	前塩尻図書館長の内野安彦氏に複合施設における図書館づくりについて当事者でなければわからない苦勞、工夫などお聞きしたい。市民の共働ということも。	
図書館についての検討	図書館の具体的な内容に関する事は、別途検討する機会を設けるとのことでありますが、10月まで待たずにできるだけ早く行っていただきたい。	<p>図書館の理念や具体的なルールなどは、「市民参画と協働による新発田市まちづくり基本条例」に基づき、市民の意見を伺いながら構築していきたいと考えています。</p> <p>歴史書館については、構想に必要な資料収集及び検討をしております。</p>
	<p>図書館の具体的な内容に関する事は、ワークショップではなく別途検討する機会を設けるとのことでありますが、専門委員会との関連はどうなるのでしょうか。別途の機会についての会参加の公募があるのでしょうか。</p> <p>・歴史書館構想は現時点でどのようなものになっているのでしょうか。図書館の役目として歴史書は大切な部分を占めるとのことです。現図書館の利用方法に関する委員会が立ち上げられるのでしょうか。もしそうなら公募して頂き、是非参加したいと考えています。</p>	

ワークショップメンバーより	事務局より
<p>講演を聞いて 時間がない中、行政が本気で市民と議論する姿勢を感じた。新発田は形だけ整えることが目立つ。やっぱり「人」。図書館司書の充実スキルアップを。</p>	
<p>塩尻の伊東館長さんのお話は大変良かったです。ワークショップの参加者が減っているようで、気になります。 伊東館長さんがおっしゃったように、ただ開いていればいい図書館でなく、役立つ図書館を目指してほしいと思います。</p>	
<p>伊東センター長の講演は大変有意義でした。</p>	
<p>遠方よりご講演においでいただき、ありがたく思います。 「地域に役立つ」という目的を持って諸計画を実演する事が大切と感じました。</p>	
<p>資料、説明はご本人の情熱（えんぱーく）が表れていて、講演内容がよく理解できて大変良かった。 ワークショップについては、参加者と行政との食い違いが多く、もう少し市民側に立った意見交換を願いたい。</p>	
<p>実施設計、管理運営については塩尻の伊東館長さんのように最初から目標を持って、情熱を持って仕事に向かって複合施設建設にあたってほしい。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
<p>センター長の意気込み、連携、市民を巻き込んでのセンター活用等々、これから必要な事をお聞き出来た。やはりセンター長の長い目で構想する力も必要です。</p>	
<p>・質問でも述べましたが、伊東館長さんの資料の言葉にあるように、「事業が終わるまで、議論を続けて欲しいし、意見を受ける、発する、咀嚼する作業を完成まで続けていただきたい。また、施設設置の反対運動の対応に2年間費やしたが、反対者の意見をどう反映したかが大切だと思っている。」という事がとても大切だと思っています。</p>	
<p>ファシリテーターの進行は適切とは思えません。ライターも同じく。これはワークショップと言えるのかな？</p>	
<p>①行政も市民も意識改革必要かと思えます。 （もっとお互いにわかろう、分かり合おうという姿勢） 行政＝縦割り 市民＝関心ある所へのこだわり ⇒もっと全体の融合連携を柔軟に考える気持etc ②複合施設のコネクト、どういう図書館にしたのかという精神、熱い気持ちがある方が施設長であることの重さを痛感しました。</p>	
<p>回を追う毎にだんだん良い施設になってきたと思います。</p>	
<p>最終回に二階堂市長のこの施設に対する考えをお聞きしたいと思います。</p>	

その他感想・意見等